

公益社団法人日本地震学会 2020 年度定時社員総会議事録

1. 開催日時 2020 年 6 月 3 日（水）13 時 10 分～14 時 15 分
2. 開催場所 新型コロナウイルス感染拡大予防のため Zoom を利用したビデオ会議により開催
議長：徳島大学 徳島県徳島市新蔵町 2 - 2 4
議事録作成者：日本地震学会事務局 東京都文京区本郷 6-26-12 東京 RS ビル 8 階
3. 総社員数 140 名
4. 出席社員数 出席代議員総数 113 名（定足数 71 名）
内通常代議員 96 名
役員代議員 17 名
出席代議員数（本人出席） 89 名
出席代議員数（議決権行使書出席） 24 名
5. 議長 通常代議員 馬場 俊孝
6. 出席役員

理事（会長）	山岡	耕春
理事（副会長）	久家	慶子
理事（副会長）	古村	孝志
理事（常務理事）	汐見	勝彦
理事	内出	崇彦
理事	大林	政行
理事	加藤	護
理事	河原	純
理事	竹内	希
理事	田中	聡
理事	中川	和之
理事	根本	泰雄
理事	干場	充之
理事	松島	信一
理事	三宅	弘恵
監事	尾形	良彦
監事	末次	大輔
7. 議事録作成者 事務局 中西 のぶ江

8. 決議事項

- 第1号議案：2019年度事業報告書承認の件
- 第2号議案：2019年度収支決算報告書承認の件
- 第3号議案：理事及び監事選任の件
- 第4号議案：役員報酬の件

9. 報告事項

- 1. 2020年度事業計画の件
- 2. 2020年度収支予算の件
- 3. その他

10. 議事の経過の要領及びその結果

山岡会長より挨拶が行われた。事務局がZoomウェビナーでの出席者名の確認及び執行部と参加者の意思疎通ができることを確認した。汐見常務理事から定足数を充たす社員の出席が認められたので、定款第32条により公益社団法人日本地震学会2020年度定時社員総会を開催する旨の宣言があり、引き続き議長に馬場俊孝氏を選出した。議長より、本日の議事の経過を議事録にまとめるにあたり、山岡耕春会長、久家慶子副会長の理事2名を議事録署名人に選任したい旨を諮り、満場一致でこれを可決した。続いて、次の議案について逐次審議することとなった。

第1号議案

2019年度事業報告書承認の件

議長の指名により、汐見常務理事から2019年度の事業報告書について、配布資料に基づき説明が行われた。また、報告書案に記載された日付に関して修正の指摘があり、訂正した。質疑応答はなく、議長は議案を諮り賛成多数で本議案を承認した。

第2号議案

2019年度収支決算報告書承認の件

議長の指名により、竹内会計担当理事から2019年度の収支決算報告書について、配布資料に基づき説明が行われた。質疑応答はなく、議長は議案を諮り賛成多数で本議案を承認した。

第3号議案

理事及び監事選任の件

議長の指名により、汐見常務理事から、本定時社員総会の終結と同時に任期満了となる役員に代わり、新たに後任者の選任が必要となる旨の説明が行われた。理事候補者15名、監事候補者3名の選任について候補者1名毎に審議した結果、賛成多数でこれを承認した。選任された理事及び監事は以下の通りである。なお、総会に出席した被選任者は、席上その就任を承諾した。

理 事 小原 一成

理 事 吾妻 崇

理 事 加納 靖之

理 事 久家 慶子

理 事 齊藤 竜彦

理 事 酒井 慎一

理 事 佐藤 利典

理 事 豊国 源知

理 事 中川 和之

理 事 中島 淳一

理 事 西田 究

理 事 久田 嘉章

理 事 干場 充之

理 事 行竹 洋平

理 事 綿田 辰吾

監 事 山岡 耕春

監 事 横井 俊明

定款第 18 条第 7 項による監事

監 事 鈴木 善和

第 4 号議案 役員報酬の件

議長の指名により、汐見常務理事から選任された定款第 18 条第 7 項による監事の報酬において配布資料に基づき説明が行われた。質疑応答はなく、議長は議案を諮り、全会一致で承認した。

報告事項 1

2020 年度事業計画の件

2019 年度第 6 回理事会（2020 年 3 月 16 日開催）で承認された 2020 年度事業計画について、汐見常務理事から配布資料に基づき説明が行われ、以下の質疑応答および意見があった。

質問：会長の挨拶の中に財政基盤を立て直すためにも会員を増やすことが重要である旨の発言があったが、計画書の中でその施策についての記載はあるか。

回答：（山岡会長）明確な記載はないが、会員増加策として秋季大会において特別セッションの募集変更や CTGS との共同セッションなどで幅広く若手の参加者を増やす方策をとっていた。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により今年度は難しいかもしれない。収入増加策は予算書の報告で説明するが、大会の参加費の改定行う予定であった。

意見：地震学会に参加する会員の研究分野の専門性を広げるとするのは非常に重要で、新執行部には検討を希望する。

報告事項 2

2020 年度収支予算書の件

2019 年度第 6 回理事会（2020 年 3 月 16 日開催）で承認された 2020 年度収支予算について、竹内会計担当理事から配布資料に基づき説明が行われ、質疑応答があった。

質問：赤字予算を立てているが、赤字解消の長期的な見通しを会長もしくは会計担当理事から伺いたい。

回答：（竹内会計担当理事）赤字解消には会員の協力と努力が必要だと考えている。学生の学会参加を促す会員増への協力や、議論の輪を広げることが重要だと考える。

（山岡会長）難しい問題だが、支出についてはまだ削減の余地があると考えている。収入に関してはサービスに見合った会費・参加費等を見極め収支の均衡をとることを考えており、今回は大会参加費の見直しを行った。

11. 閉会

以上により本日の議事をすべて終了し、議長は閉会を宣言した。